

学級活動指導案

庄原市立口和中学校
指導者 教諭 高見 省吾

- 1 日時・場所 平成24年12月12日（水）～平成25年1月10日（木） 第1学年教室
- 2 学年・学級 第1学年（男子9名 女子8名 計17名）
- 3 題材名 「楽しい学校生活にするために」
内容 （2）オ 望ましい人間関係の確立

4 題材について

（1）生徒の実態

所属校では、友達と関わるのが苦手な不登校傾向を示す生徒や、友達に対していたずらや嫌がらせを繰り返す生徒、自分の主張を強引に通そうとして、友達とトラブルが絶えない生徒が各学年に数名ずついる。

本年度、第1学年を対象に実施した二つの実態調査の結果は次のとおりである。

- ① 「楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-U）」において、「休み時間など一人であることが多い。」「周りの目が気になり不安や緊張を覚えることがある。」という質問に対して肯定的な回答をした生徒はそれぞれ41.2%、35.3%である。
- ② 「学校環境適応感尺度（アセス）」において、「落ち込んでいる友だちがいたら、その人を元気づける自信がある。」「いやなことがあったとき、友だちは慰めたり励ましたりしてくれる。」「元気がないとき、友だちはすぐに気づいて、声をかけてくれる。」「相手の気持ちになって考えたり行動する。」という質問に対して肯定的な回答をした生徒はいずれも33.3%である。また、対人的適応に含まれる「向社会的スキル」因子、「友人サポート」因子の学級偏差値（一人一人の偏差値の平均）は、いずれも47で、対人的適応（「友人サポート」因子、「向社会的スキル」因子、「非侵害的関係」因子、「教師サポート」因子得点の総合評価）の偏差値が50以下の生徒は、73.3%である。

これらの結果から、自分から友達と積極的に関わっていったり、人の気持ちを考えて行動したり、自分も相手も大切にしながら上手に自己表現したりするといったソーシャルスキルが十分に身に付いていないために、互いに支えたり支えられたりといったよりよい関係が築けず、学校生活に不適応を起こしているのではないかと考えられる。

（2）題材設定の理由

中学校学習指導要領（平成20年）の第5章特別活動では、学級活動の目標を「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。」と示されている。

また、中学校学習指導要領解説特別活動編（平成20年）の「学級活動の内容の（2）のオ」において、望ましい人間関係の確立のために、ロールプレイングや体験発表を取り入れた話し合い、自己表現力やコミュニケーション能力を高める体験的な活動、学級成員等の親睦を深める活動など様々な展開の工夫が考えられると示されている。

そこで本活動は、生徒の実態を踏まえ、課題と考えられるソーシャルスキルを選択し、段階的にトレーニングを実施していく。具体的には、自分から積極的に友達を誘うスキル、友達に元気がないときにあたたかい言葉を掛けるスキル、相手の気持ちを考えながら自分の気持ちを伝えるアサーション・トレーニングの順に指導を行い、生徒の対人関係能力を育成する。さらに、これらのスキルを強化し、より望ましい人間関係の確立を図るためにグループ活動を実施する。

また、本活動を実施する際には、向社会的スキルの向上や互いに支え合う関係づくりを進めるといった目標を達成するために、三つの生徒同士の場（①関わり合う場【交流・共行動】、②認め合う場【共感・承認】、③支え合う場【共感・支援】）を授業の中に効果的に取り入れることとする。

これらの活動を通して、生徒一人一人の対人関係能力を育成し、望ましい人間関係を築くことで学校生活へのよりよい適応を促すことをねらいとする。

5 題材の目標

- 友達の気持ちを考えながら、自分から友達を誘うことができる。
- 友達の気持ちを受け止めながら、自分からあたたかい言葉掛けをすることができる。
- 自分も相手も大切にしたい自己表現ができる。
- 友達の多様な考え方を知ったり、適切に自己主張したりしながら、互いに認め合い、協力して課題に取り組むことができる。

6 事前の活動

- 事前アンケートを通して、自分自身の現在の学校生活を振り返るとともに、よりよい人間関係を築く上で向社会的スキルを身に付けることの必要性を意識する。

7 指導計画（全5時間）

次時	活動の内容	目 標	評価規準（評価方法）	
第一次	第1時 (本時)	○ 友達を上手く誘うソーシャルスキル・トレーニング 友達を上手く誘って、みんなで楽しく過ごす方法を考える。	友達関係を広げるために、自分から友達を誘ったり、話しかけたりすることができる。	友達関係を広げるために、自分から友達を誘ったり、話しかけたりすることができる。 (観察・ワークシート)
	第2時	○ 相手の気持ちを受け止めて、自分の気持ちを伝えるソーシャルスキル・トレーニング 「あたたかい言葉掛け」について考え、そのポイントを学び、練習する。	あたたかい言葉掛けのポイントを理解し、相手の気持ちを考えた言葉掛けをすることができる。	友達の気持ちを受け止めながら、自分からあたたかい言葉掛けをすることができる。 (観察・ワークシート)
	第3時	○ 自分も相手も大切にしたい自己主張をするアサーショントレーニング 言いたいことをうまく伝えるアサーティブな自己表現について理解し、練習する。	アサーティブな自己表現を理解し、自分も相手も大切にしたい自己表現を行うことができる。	自分も相手も大切にしたい自己表現をすることができる。 (観察・ワークシート)
第二次	第1時	○ グループ活動 「私の四面鏡」 グループの一人一人がもつ魅力的なところを見つけ、伝え合い、自分のよさを見つめ直す。	肯定的な印象を伝え合うことで自己理解、他者理解を深め、自己受容を高めることができる。	肯定的な印象を伝え合うことで自己理解、他者理解を深め、自己受容を高めている。 (観察・ワークシート)
	第2時	○ グループ活動 協力して折り紙を折り、自分の目標と友達へのメッセージをワークシートに記入し、交流する。	互いに支え合い、認め合える共同作業に取り組むことで、よりよい人間関係を築くことができる。	互いに支え合い、認め合える共同作業に取り組むことで、よりよい人間関係を築いている。 (観察・振り返りシート)

8 学習内容（本時1／5時）

第一次 第1時「ちょっと大人の誘い上手」

(1) 日 時 平成24年12月12日（水） 第6校時

(2) 本時の目標

友達関係を広げるために、自分から友達を誘ったり、話しかけたりすることができる。

(3) 準備物 シナリオ（シナリオ①，シナリオ②），グループ活動の流れ，ワークシート

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準[観点] （評価方法）
導 入	1 これからの学習について確認する。 ○楽しいクラスについて考える。 2 本時の目標を確認する。	◇楽しく過ごしやすいクラスについて考えさせ、意見を集約し、共有する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">友達を上手く誘って、友達関係を広げよう！</div>	
展 開	3 どうしたら友達を上手に誘うことができるかを考えて発表する。 ○シナリオ①をもとに、友達を誘う方法を個人で考えて、その後、グループで交流する。 4 グループでロールプレイングをする。 5 友達を上手く誘うためのポイントを確認する。 6 シナリオ②をもとに、友達を上手く誘う方法を考える。 7 グループでロールプレイングをする。	◇友達を上手く誘えなかった事例をもとに、友達を上手に誘う方法を考えさせる。 ◇友達を上手く誘うためのポイントを説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">【友達を上手く誘うためのポイント】 ① 相手の気持ちに気付く ② 自分の気持ちを伝える ③ 相手に気持ちを聞く ④ 笑顔で話しかける</div> ◆友達を上手く誘う方法が思い浮かばない生徒については、机間指導の際に指導・助言する。 ◇交流するとき、他の人が考えた言葉掛けを認め、否定しないことを確認する。 ◇ロールプレイングのやり方を説明する（教師によるモデリング）。恥ずかしがらずに役になりきることを確認する。 ◇ロールプレイングを終えてよかったことを伝え合う。 ①関わり合う場【交流・共行動】 ◇表情、声の大きさ、相手との距離なども大切であることを理解させる。 ◇学習したポイントを振り返らせながら、友達を上手く誘う方法を考えさせる。 ◇上手な誘い方について肯定的に評価し合う。 ②認め合う場【共感・承認】	・友達関係を広げるために、自分から友達を誘ったり、話しかけたりすることができる。[集団や社会の一員としての思考・判断・実践]（観察・ワークシート）
ま と め	8 本時のまとめをする。 ○これからの生活にどのように生かしていくかを考えて、ワークシートに記入する。（自己決定）	◇感想を発表させて、授業を振り返る。 ◇学習したことを日常の生活に生かしていくために、「友達を上手く誘うためのポイント」を掲示することを伝える。	

9 事後の活動

- 一定期間、実際に学習したスキルを学校生活の中で生かしているかどうか、個人目標に沿って自己評価・相互評価を行う。（朝の会・帰りの会等）

「ちょっと大人の誘い上手」

1年 () 番 氏名 ()

1 友だちを上手に誘うための方法を考えよう。

【シナリオ①】

【シナリオ②】

A :	A :
B :	B :
A :	A :

2 【友だちを上手く誘うためのポイント】

-
-
-
-

3 授業の振り返り (①, ②の質問は, A~Dの中で, 最もあてはまるものに○をつけてください。)

① 上手に友だちを誘う方法が分かりましたか。 (A:よく分かった B:やや分かった C:あまり分からなかった D:まったく分からなかった)

② 自分から友だちを誘ってみようと思いましたか。 (A:よく思った B:やや思った C:あまり思わなかった D:まったく思わない)

【今日の授業の感想を書きましょう】 ※今日の授業で思ったことや, これから心がけたいことなど
